



# 木曽林務課だより



梅雨の時期を迎え、少し蒸し暑く感じる日が増えました。梅雨が過ぎれば本格的な夏が訪れます。今から暑さ対策を十分にし、体調を崩さないように気を付けましょう(\*^^\*)

今回の木曽林務課だよりは5月に行われた木曽郡植樹祭の様子をお届けします。

## 木曽郡植樹祭を開催しました！

5月26日（土）、木曽郡大桑村の野尻袖山村有林において、平成30年度木曽郡植樹祭、大桑村・木曽森林管理署南木曽支署合同植樹祭が開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、五月晴れの空のもと植樹祭を開催することができました。

木曽郡内にお住まいの方々や、木曽川下流域の方々、およそ600名が参加し、式典後、ミツバツツジ、コナラ、ミズナラ、カシワ、トチノキ265本の植樹作業と、隣接地の除伐作業を行いました。

式典では、増田隆志木曽地域振興局長から「伐って、使って、また植えて、育てるといふ、山づくりのサイクルをしっかりと取り戻し、山村地域を支える人々が元気になることで、次代に豊かな森林を引き継ぐことが可能」とのあいさつがありました。その後、多くの来賓の皆さまから祝辞をいただき、続いて、地元小中学校の代表者より“みどりの宣言”が行われました。



植樹作業は、斜面が急であり大変でしたが、みどりの少年団と下流域の皆さんが協力しながら、すべての苗木を植栽していただきました。除伐作業では、先が見えないくらいの藪だらけの場所でしたが、木曽郡内の参加者や林業大学の生徒さんの力により、林内に光が射し、見違える程の森林になりました。

天候にも恵まれ、気持ちのいい植樹祭となりました。遠方から参加していただいた皆さん、地域の皆さん、スタッフの皆さん、たくさんの方々のご協力により、無事に開催することが出来ました。ありがとうございました。

